

東京農業大学校友会神奈川県支部

湘南稲桜会

創立20周年記念

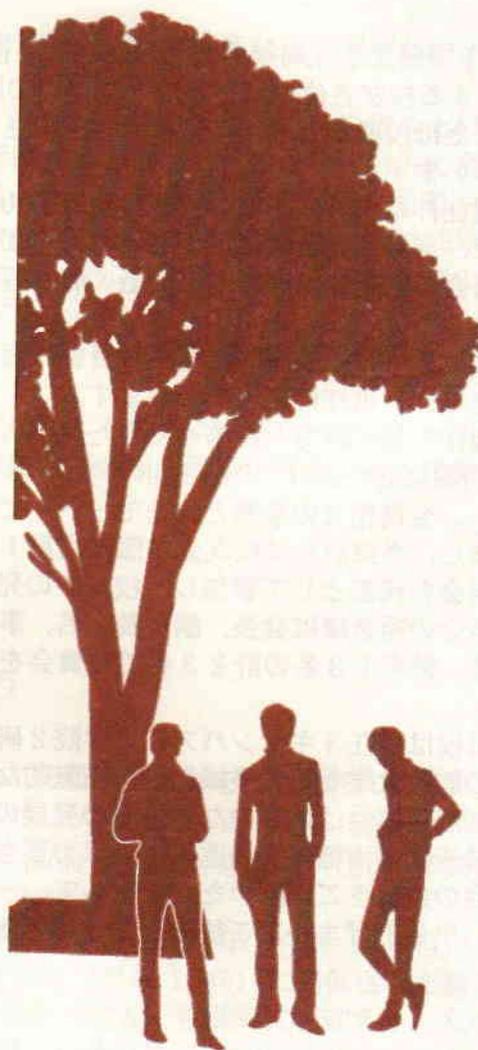
20年のあゆみ

農

2016年(平成28年)

## も く じ

ごあいさつ	2
祝 辞	4
20年の歩み	6
平成7年～平成9年	6・7
平成10年～平成12年	8・9
平成13年～平成15年	10・11
平成16年～平成18年	12・13
平成19年～平成21年	14・15
平成22年～平成24年	16・17
平成25年～平成27年	18・19
20年に想う	20
現役員	28
歴代役員	29
表彰者	30
学 歌	31
編集後記	





ごあいさつ

東京農業大学校友会神奈川県支部  
湘南稲桜会  
会長 松居 靖雄(昭和43年院化修)

私達湘南稲桜会は東京農業大学校友会神奈川県支部の分会として、横須賀市・鎌倉市・逗子市・三浦市・葉山町の地域4市1町の校友で平成8年3月に発足いたしました。

本年度で発足20周年の記念日を恙なく迎えることが出来ました。これは諸先輩を初めとする校友各位の惜しみないご協力の賜と深く感謝申し上げます。

また母校農大も本年、記念すべき創立125周年を目出度く迎えられ、感慨一入でございます。

現在神奈川県支部の校友は約13,000余名を数えており、当地域の校友は約850名で、当会の会員数は約100名の方が加入されております。

当会の活動は研修会や機関紙「湘南稲桜会だより」の発行を中心として続けてまいりました。

平成24年、長期にわたり会長をお願いいたしました梅澤稔先輩が退任され、私が引き継ぎ、現在に至っております。

現在も諸先輩方々の培ってきた運営方針を遵守して、役員会隔月の開催、機関紙「湘南稲桜会だより」の年2回の発行、年1回の研修会、箱根駅伝の沿道応援などを実施し、会員相互の連繋と和をモットーに今後も運営をまいります。

また、当会からは校友会本部代議員1名、神奈川県支部へ副支部長、幹事長の2名が当会の代表として参加し、校友会の発展に寄与したく考えております。

当会の運営陣は会長、副会長2名、事務局長、事務局次長、会計、監事2名、顧問2名、幹事13名の計23名で役員会を構成し、これからも運営に当たってまいります。

母校は現在3キャンパスに大学院2研究科、大学6学部18学科、短期大学部4学科の総合大学として多様化し、国際的な発展をしております。

湘南稲桜会は母校のなお一層の発展のために微力を尽くしたいと願っております。

最後に湘南稲桜会の進展にご尽力頂きました諸先輩方、役員ならびに会員各位には当会の趣旨をご理解いただきまして、一人でも多くの校友が加入して下さるようお願い申し上げます。





## 回想の 20 年とこれから

東京農業大学校友会神奈川県支部  
湘南稲桜会  
副会長 小清水 征雄 (S39 学畜)

平成 8 年 3 月 2 日横須賀市文化会館の創立総会に出席しました。

当日は横須賀、鎌倉、逗子、三浦市そして葉山町に在住、在勤の多くの OB が集い盛会のなか湘南稲桜会が誕生しました。さすが東京農業大学の学友は強い絆で結ばれているなと思いました。

この年は「自分をほめたい」アトランタオリンピックで有名な有森選手が銀メダルを獲得したときです。

あれから 20 年、いろいろな活動の中でも 17 年度から始まったバスを借り上げての研修会は楽しみがいっぱいです。この小旅行は会員の親睦と社会見学を目的に現在まで 10 年間続いています。視察先も食品製造、ビール・酒蔵などの醸造、鶏卵生産会社等、また、農産物直売所、市民農園・クラインガルテン（滞在型）と共に浅草、川越等の観光も兼ね合わせて実施してきました。特に視察帰りのサロンバスでの酒を酌み交わしながらの談笑は楽しいひとときです。

一方、学習として総会で母校の教授を主にお願ひし、その時々話題となっている事柄について講演会を実施しています。

今後とも、この会が永きに亘り維持発展できるよう会員と役員が一体となって会員を増やし組織の活性化を図り、農大健児の情報交換の場と親睦が深まるように微力ですが貢献したいと思っています。



## 20 周年に想う

東京農業大学校友会神奈川県支部  
湘南稲桜会  
副会長 関 恵梨子 (S50 学栄)

湘南稲桜会の創立 20 周年おめでとうございます。私は今年で在籍 14 年目になりました。思い出に残るのは、本会の創立 10 周年（平成 18 年）に開催された講演会です。母校農大の小泉武夫博士（現松居会長のご友人）を講師にお迎えし、私の所属する食生活改善推進団体・若宮会も、後援という立場で参加をさせていただきました。幕の内弁当が「価格破壊」の餌食となっており、食の安心・安全に問題があると言うお話などは、食に関わるものとして真剣に考えなければならない問題提起となりました。

また、平成 23 年に開催された秩父方面研修会では、醸造科の友人より参加者全員に地元名産の蒟蒻のお土産を戴くと云う嬉しいサプライズもありました。

私達の先輩が築きあげた湘南稲桜会の大切な歴史を、未来へ引き継いでいくことが、今の会員としての使命ではないかと思ひます。



## 祝 辞

### 湘南稲桜会創立 20 周年に寄せて

東京農業大学校友会会長 三好吉清

東京農業大学校友会神奈川県支部湘南稲桜会が創立 20 周年を迎えるにあたり、全国の校友 16 万 3 千余名を代表して心からお祝い申し上げます。

母校、東京農業大学は本年創立 125 周年の節目の年を迎え、我が国の農学系大学で最大規模の大学へと輝かしい発展を続けています。

東京農業大学校友会の発足は、明治 26 年東京農学校第一期卒業生によって組織された同窓会が起源と言われています。

ご存知のとおり校友会の初代会長は本学の育ての親、東京農業大学初代学長横井時敬先生です。それから数えて私が第 11 代会長となります。

校友会支部は、大正元年 8 月広島県在住の校友によって設立された広島県同窓会が最初でした。大正 2 年 11 月に同窓会の名称を校友会と改称し、大正 10 年 1 月に地方支部の設置が公認されて以来、今日まで会員相互の親睦と社会活動の助長・福祉の向上を図りつつ、母校、東京農業大学及び短期大学部の発展に寄与してまいりました。

現在は、47 都道府県及び海外に 11 支部を置き、会員 16 万 3 千余名を有する我が国農学系大学の校友会組織としては最大の組織となっています。

卒業生校友の活躍は、実に多彩であり、農林水産、食品産業及びこれらに関連する各種産業の中で、主導的な役割を担うばかりでなく、各界各層に、そして海外でもあらゆる分野に進出し、幅広く活躍しておられます。卒業生の活躍は大学の名声を上げ、大学の大きな支えとなっているところです。そして卒業生の活躍の成果は大学の資産であり宝です。

こうした中であって、神奈川県支部の地域分会たる湘南稲桜会は、平成 8 年設立爾来 20 年の長きに亘り、毎年支部総会、記念講演会、研修会、箱根駅伝の応援会等を開催され、更には会報「湘南稲桜だより」の発行等々管内の校友活動を積極的に取り組んで来られました。

このことは、現会長の松居靖雄氏ほか歴代会長の力強いリーダーシップの下で、支部役員・会員校友の皆様方がご尽力された成果だと思っております。

このように湘南稲桜会の皆様方には、母校愛の下、一致協力して特色ある活動を展開され、母校並びに校友会本部をご支援頂いておりますことに、校友会長として深く敬意を表する次第であります。

今後とも、母校・農大の発展を願う校友同志として、質実剛健、自彊不息、独立不羈の農大精神をもって、校友会活動を積極的に推進され、多くの支部の中であってキラリと光る輝かしい支部に発展されますことをご期待申し上げますとともに、支部会員の皆様のますますのご活躍とご発展を心よりご祈念申し上げご祝辞といたします。



## 祝 辞

湘南稲桜会創立20周年にあたって

東京農業大学校友会神奈川県支部

支部長 加藤 恒雄

湘南稲桜会創立20周年おめでとうございます。

東京農業大学校友会神奈川県支部といたしましても、地域分会が各種活動を積極的に行い校友会組織の親睦に努めて頂いております事に深く感謝しております。

毎年、湘南稲桜会の総会に参加させていただいておりますが、女性や若い方々が参加されていることを見るにつけ、多くの地域分会がそうであるように校友会員、特に女性会員の参加してもらうことに色々と手を尽くしているところではありますが参加者が増えません。

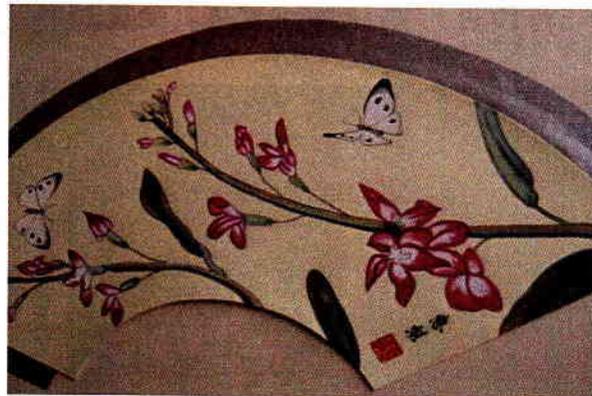
神奈川県支部といたしましても、女子部会の創設に以前から話がありますので地域分会の方々に協力いただいて立ち上げたいと思っております。

今年母校東京農業大学も、創立125周年という節目の年を迎えております。

校友の皆様には、色々とご協力をいただきありがとうございます。

神奈川県支部も新たな役員体制で、地域分会の声を校友会本部及び大学に伝えていきたいと思っております。

最後になりましたが、湘南稲桜会のますますの発展と会員の方々のご活躍をお祈りいたします。



# 現 役 員

(平成28年3月31日現在)

役 職	氏 名	卒業年次	選出区	役 職	氏 名	卒業年次	選出区
会 長	松居 靖雄	S43院化修	鎌 倉	幹 事	湖水 康史	S62学農	横須賀
副 会 長	小清水 征雄	S39学畜	横須賀	"	澤地 理	S49学農	横須賀
副 会 長	関 恵梨子	S50学栄	逗 子	"	鈴木 雅智	H17学農	横須賀
事務局 長	清水 圭一	S46学造	横須賀	"	嶋村 勝美	S39学化	鎌 倉
事務局次長	廣濱 徹	S41学造	横須賀	"	白鳥 武秀	S39学化	鎌 倉
会 計	酒井 利明	S48学造	横須賀	"	磯谷 ゆり子	S48学栄	鎌 倉
監 事	白井 浩	S41学林	三 浦	"	徳増 元治	H4 学拓	鎌 倉
"	江間 三恵子	S39学栄	横須賀	"	池田 尚弘	S40学農	三 浦
顧 問	林 昌夫	S17専拓	横須賀	"	川名 昌雄	S48学農	三 浦
顧 問	梅澤 稔	S33学農	鎌 倉	"	水留 亨	S44学造	葉 山
幹 事	寺井 俊介	S34学化	横須賀	"	下嶋 武志	S45学造	葉 山
"	石橋 順作	S34学林	横須賀				



歴代役員（会長・副会長・事務局長）

	平成8年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度
会 長	石井 十三夫 S20専緑土	石井 十三夫 S20専緑土	前田 利弘 S26学士	梅澤 稔 S33学農	梅澤 稔 S33学農
副会長	前田 利弘 S26学士	前田 利弘 S26学士	梅澤 稔 S33学農	鈴木 一雄 S39学造	鈴木 士郎 S39学造
副会長	梅澤 稔 S33学農	梅澤 稔 S33学農	鈴木 一雄 S39学造	鈴木 士郎 S39学造	青木 彦八 S25専農
事務局長	青木 彦八 S25専農	青木 彦八 S25専農	青木 彦八 S25専農	青木 彦八 S25専農	鈴木 長谷雄 S28学化
	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
会 長	梅澤 稔 S33学農	梅澤 稔 S33学農	梅澤 稔 S33学農	梅澤 稔 S33学農	梅澤 稔 S33学農
副会長	鈴木 士郎 S39学造	鈴木 士郎 S39学造	鈴木 士郎 S39学造	鈴木 士郎 S39学造	鈴木 士郎 S39学造
副会長	青木 彦八 S25専農	青木 彦八 S25専農	青木 彦八 S25専農	青木 彦八 S25専農	青木 彦八 S25専農
事務局長	鈴木 長谷雄 S28学化	鈴木 長谷雄 S28学化	鈴木 長谷雄 S28学化	鈴木 長谷雄 S28学化	鈴木 長谷雄 S28学化
	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
会 長	梅澤 稔 S33学農	梅澤 稔 S33学農	梅澤 稔 S33学農	梅澤 稔 S33学農	梅澤 稔 S33学農
副会長	鈴木 士郎 S39学造	青木 彦八 S25専農	青木 彦八 S25専農	青木 彦八 S25専農	青木 彦八 S25専農
副会長	青木 彦八 S25専農	関 恵梨子 S50学栄	関 恵梨子 S50学栄	関 恵梨子 S50学栄	関 恵梨子 S50学栄
事務局長	鈴木 長谷雄 S28学化	鈴木 長谷雄 S28学化	清水 圭一 S46学造	清水 圭一 S46学造	清水 圭一 S46学造
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
会 長	梅澤 稔 S33学農	松居 靖雄 S43院化修	松居 靖雄 S43院化修	松居 靖雄 S43院化修	松居 靖雄 S43院化修
副会長	青木 彦八 S25専農	小清水 征雄 S39学畜	小清水 征雄 S39学畜	小清水 征雄 S39学畜	小清水 征雄 S39学畜
副会長	関 恵梨子 S50学栄	関 恵梨子 S50学栄	関 恵梨子 S50学栄	関 恵梨子 S50学栄	関 恵梨子 S50学栄
事務局長	清水 圭一 S46学造	清水 圭一 S46学造	清水 圭一 S46学造	清水 圭一 S46学造	清水 圭一 S46学造

## 編集後記

湘南稲桜会創立 20周年記念誌を作るに際し、設立当初からの歴史をあらためて振り返ることができました。当会が現在まで校友の皆様方と活動してこれましたのは、設立に向けて強い情熱を傾けられてきた諸先輩方と多くの会員皆様のご尽力のおかげであることを改めて認識しました。

発行に当たりましては、お忙しい中、多くの方にご寄稿いただき誠にありがとうございました。

寄稿文を読ませていただくと、農大生の強い繋がりと、当会の発展についての熱い気持ちが伝わってきます。

今年は母校が創立 125周年を迎えます。継続は力なりとありますが、私たちは当会の“タスキ”が次の時代へしっかりわたるよう会員全員で頑張りましょう。

最後になりましたが、記念誌発行にご協力頂きました皆様に深く感謝を申し上げます。

清水圭一 (S46学造)

## 20周年記念誌 編集委員会

委員長 小清水 征雄 (副会長)

委員 清水 圭一 (事務局長)

委員 澤地 理 (横須賀地区)

委員 白鳥 武秀 (鎌倉地区)

委員 関 恵梨子 (逗子地区)

委員 白井 浩 (三浦地区)

委員 下嶋 武志 (葉山地区)

平成 28年 6月 5日 発行

カット 関 恵梨子 (S50学栄)

印刷 さくらデザイン